

競走部

部員数
137名

■ 1914年(大正3年)公認



部長
藤本浩志
人間科学学術院
教授



監督
大前祐介



主将
井上直紀
スポーツ科学部
高崎

執筆時点で終了している対校戦の成果を振り返る。まず4月の東京六大学対校では男女それぞれ2位と1位であった。5月に開催された関東インカレではそれぞれ3位と6位であったが、男子はトラックで3年連続1位となった。今年9月に開催される東京世界陸上の影響で、例年より前倒しで6月に開催された日本インカレではそれぞれ3位と10位であったが、やはり男子はトラックで優勝を飾っている。同様の理由で8月に開催された早慶戦では男女とも勝利し、3年連続のアベック優勝を果たした。秋からシーズンを迎える長距離ブロックの三大駅伝では、10月の出雲駅伝で準優勝の成績を取り、今後の全日本さらには箱根での検討を期待したい。

東京世界陸上で井上直紀、世界選手権室内で西徹朗、ワールドユニバーシティゲームズには4名輩出。今シーズンは「早稲田から世界へ」というものを肌で感じることが監督就任以降ありませんでした。一貫した方向性がようやく花開いた世代だと思いますし、それを体現した学生諸君にはあっぱれです。またチームとしてもトラック種目では無類の強さを見せ関東インカレで3連覇、日本インカレで2連覇を達成し、トラックの早稲田をお見せすることができました。一方で、インカレではあと一步というところで勝ち切れない種目が多く、次の世代への宿題になりました。各種目でしっかりと強化を推し進め、トラックだけではなく総合優勝を目指していきます。



主務
白石幸誠
人間科学部
八幡浜



駅伝部門監督
花田勝彦



駅伝主将
山口智規
スポーツ科学部
学法石川

今年度も早稲田大学競走部へのご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございます。111代目。「1」が並ぶ年に短距離・長距離、男子・女子といった垣根を越え、競走部がひとつとなって戦うことを目指し「One早稲田」を掲げました。その結果、関東インカレでは総合男子3位、女子6位、日本インカレでは総合男子3位、女子総合10位、出雲駅伝2位。全日本大学駅伝5位。箱根駅伝総合4位という成績でした。しかし、どの舞台においても「1位」にはあと一步届かなかった悔しさが残ります。この想いは後輩たちに託します。懸断で染めろ。そして早稲田から世界へ。

今年度は、工藤慎作がユニバーシティゲームズのハーフマラソンで金メダルを獲得、山口智規が日本インカレ1500m・5000mで二冠を達成するなど、個々の強さが際立った一年でした。駅伝の方は、出雲大学駅伝が2位、全日本大学駅伝が5位、そして箱根駅伝は往路2位、総合4位という結果で、優勝こそありませんでしたが、それぞれの駅伝で区間賞を獲得し、先頭争いに加わるなど見せ場を作ることができました。次年度はさらに個々の強化を進めるとともに、駅伝でも優勝のゴールテープを切れるよう、選手たちとともに精進していきます。

本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

- ◇第58回東京六大学対校陸上競技大会 (4月5日) 準優勝
- ◇2025日本学生陸上競技個人選手権大会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール) 日本代表選手選考競技会 (4月25日~27日) 400m 森田陽樹(創造理工3) 4位 5000m 鈴木瑠嵐(スポーツ科学1) 2位 110mH 西徹朗(スポーツ科学4) 3位 400mH 洲上翔太(スポーツ科学2) 2位 400mH 盛岡優喜(スポーツ科学4) 3位 3000mSC 佐々木哲(スポーツ科学1) 1位
- ◇第104回関東学生陸上競技対校選手権大会 (5月8日~11日)

- 1部 総合3位 トラック優勝
- ◇広州2025世界リレー (5月10日~11日) 日本(4走) 井上直紀(スポーツ科学4) 4位
- ◇第26回アジア陸上競技選手権大会 (5月27日~31日) 3000mSC 佐々木哲(スポーツ科学1) 4位
- ◇天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会 (6月5日~8日) 総合3位 トラック優勝
- ◇第109回日本陸上競技選手権大会 兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 (7月4日~6日) 100m 関口裕太(スポーツ科学3) 3位 100m 井上直紀(スポーツ科学4) 4位

- 1500m 山口智規(スポーツ科学4) 2位 400mH 洲上翔太(スポーツ科学2) 7位 3000mSC 佐々木哲(スポーツ科学1) 3位
- ◇第109回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 (7月12日~13日) 4×400mR (森田-高須-権田-盛岡) 4位 森田陽樹(創造理工3) 高須楓翔(スポーツ科学3) 権田 漣(スポーツ科学2) 盛岡優喜(スポーツ科学4)
- ◇FISU ワールドユニバーシティゲームズ (7月21日~27日) ハーフマラソン 工藤慎作(スポーツ科学3) 優勝 400mH 洲上翔太(スポーツ科学2) 6位 3000mSC 佐々木哲(スポーツ科学1) 7位
- ◇第101回早慶対抗陸上競技会 (8月11日) 優勝
- ◇第37回出雲全日本大学選抜駅伝競走 (10月13日) 総合2位
- ◇秩父宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会 (11月2日) 総合5位
- ◇第102回東京箱根間往復大学駅伝競走 (1月2日~3日) 総合4位 〉往路2位 復路8位

(女子)

- ◇第58回東京六大学対校陸上競技大会 (4月5日) 優勝
- ◇2025日本学生陸上競技個人選手権大会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール)

- 日本代表選手選考競技会 (4月25日~27日) 400m 上島周子(スポーツ科学3) 4位 400m 清水奈々子(文化構想4) 7位 400mH 大川寿美香(スポーツ科学4) 2位 400mH 千葉史織(スポーツ科学2) 4位 走高跳 矢野夏希(スポーツ科学3) 2位
- ◇第104回関東学生陸上競技対校選手権大会 (5月8日~11日) 1部 総合6位 トラック6位
- ◇天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会 (6月5日~8日) 総合10位 トラック9位
- ◇第109回日本陸上競技選手権大会 兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 (7月4日~6日) 走高跳 矢野夏希(スポーツ科学3) 4位
- ◇第109回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 (7月12日~13日) 4×400mR (千葉-清水-木下-上島) 4位 千葉史織(スポーツ科学2) 清水奈々子(文化構想4) 木下晏里(商1) 上島周子(スポーツ科学3)
- ◇第101回早慶対抗陸上競技会 (8月11日) 優勝
- ◇第41回U20日本陸上競技選手権大会 (9月27日~28日) 100mH 谷中天架(スポーツ科学1) 8位
- ◇第62回全日本競歩高倉大会 兼 愛知・名古屋2026アジア競技大会日本代表選手選考競技会 (10月26日) ハーフマラソン競歩 藤田真美加(スポーツ科学4) 2位

